

平成21年度 第3回

新太良高校設置準備委員会

日 時 平成21年8月26日(水)
15:00～17:00

場 所 佐賀県立太良高等学校同窓会館会議室

会順（目次）

	頁
開会	1
教育委員会あいさつ	1
委員長あいさつ	1
協議	
1 各作業部会での検討案	2
(1) 総合作業部会	2
(2) 教育課程作業部会	3
(3) 選抜方法作業部会	8
(4) 相談・指導作業部会	9
(5) 地域連携作業部会	10
2 その他	
閉会	
資料	
・ 前回の会議概要	15
・ 新高校設置準備委員会設置要領	17
・ 平成 21 年度新太良高校設置準備委員会委員名簿	18

開会

教育委員会あいさつ

委員長あいさつ

協 議

1 各作業部会での検討案

(1) 総合作業部会

* 新太良高校の目指す学校像

単位制による多様な科目選択や単位認定により、生徒の個性や可能性を引き出し、伸ばす学校

I C T教育の充実や少人数によるきめ細かな指導により、生徒に確かな学力を身につけさせる学校

キャリア教育の充実により、生徒の主体的な進路選択を支援する学校

様々な体験的学習により、社会性や他人を思いやる心を身につけた生徒を育てる学校

地域や家庭と連携し、共に歩む学校

(参考) 【現在の太良高校の教育目標】

校訓「自律」の精神を培い、「知・徳・体」のバランスを高め、社会に貢献できる心身共に健全な清々しい人間の育成をめざす。

* I C T教育の充実

- ・各教室に電子黒板を配置し、授業の充実を図る。
- ・生徒がパソコンを活用できる環境を整備し、生徒の情報活用能力と授業効果を高める。
- ・eラーニングを積極的に導入し、個別学習に活用する。
- ・成績処理や出席管理等の校務処理で、I C Tを活用する。

* 制服

- ・制服変更の意見がある。

* 部活動

- ・目玉となるような部活をつくっていく。

* キャッチフレーズ (学校の特徴を示すキーワード)

Flexible High School (柔軟な学びができる学校)

New Challenge High School (新たなことに挑戦する学校)

Gradual High School (ゆっくりと進む学校)

Comfortable High School (居心地が良い学校)

Progress High School (進歩する学校)

Endeavor High School (真剣に努力をする学校)

Optional High School (自由に選択ができる学校)

HOT High School (hope, option, try)

(希望をもち、科目を選択し、努力する学校)

*その他

(2) 教育課程作業部会

*単位認定

単位修得は、授業の欠席日数が、定められた授業時数の1/3以内で、学習の成果が科目の目標に達している場合に認定する。

学校外の学修は次の場合に単位認定する。

ア ボランティア活動

・学校設定科目「ボランティア活動」を修得した場合。

イ 就業体験(インターンシップ)

・学校設定科目「就業体験」を修得した場合。

ウ 知識及び技能審査

・本校在学中に、(別表1)に示した検定等を取得した場合。

エ スポーツ又は文化に関する活動

・本校在学中に、高体連、高野連、高文連等主催の大会等で、次のような結果を残した場合。

a スポーツ全国大会出場(1単位認定)

b スポーツ全国大会入賞(2単位認定)

c 文化活動全国大会出場、出品(1単位認定)

d 文化活動全国大会3位以上(2単位認定)

高等学校卒業程度認定試験による単位認定は、次のように行う。

- ・認定科目：国語総合、世界史A、日本史A、地理A、世界史B、日本史B、地理B、現代社会、数学、理科総合A、化学、生物、物理、英語

- ・認定方法
 - ア 太良高校において科目登録し、未修得の科目であること
 - イ 受験前に受験届を校長に提出した科目であること
 - ウ 認定する単位数は本校所定のものとする
- ・転入・編入した生徒で、すでに高卒程度認定試験に合格している科目については、太良高校で指定している科目について単位認定する。単位数も太良高校所定のものとする。

転入・編入した生徒が、前籍校で修得した単位については、卒業に必要な単位数に加える。

(別表1)

	検定名	主催	級	認定単位
	知識及び技能審査	実用英語技能検定	日本英語検定協会	2級
準2級				3
3級				2
日本漢字能力検定		日本漢字能力検定協会	2級	3
			準2級	2
			3級	1
歴史能力検定		歴史能力検定協会	2級	3
			3級	2
			準3級	1
硬筆書写技能検定		硬筆書写技能検定協会	1級	2
			2級	1
毛筆書写技能検定		毛筆書写技能検定協会	1級	2
			2級	1
小売商(販売士)検定		日商	2級	2
			3級	1
簿記検定		日商	2級	2
ワープロ実務検定		全国商業高等学校協会	1級	2
			2級	1
簿記実務検定		全国商業高等学校協会	1級	2
			2級	1
商業経済検定	全国商業高等学校協会	1級	2	
情報処理技術者	通商産業省	2級 システムアドミニスト レーター	2 2	
情報処理検定	全国商業高等学校協会	1級	2	
		2級	2	
秘書技能検定	秘書技能検定協会	2級	2	
		3級	1	
被服製作技術検定	家庭科教育振興会	1級	2	
		2級	1	
食物調理技術検定	家庭科教育振興会	1級	2	
		2級	1	
危険物取扱者	総務省	乙種4類	1	

* 校時表

- ・ 45 分授業で実施し、JR 時刻表も考慮して設定。
- ・ 23 年度からは、全校一斉に 45 分の校時を導入。在校生も 45 分×6 限とする。

改編後入学生		現高校在学学生	
職員朝礼	8:25 ~ 8:35 (8:55 ~ 9:05)	職員朝礼	8:25 ~ 8:35
H R	9:30 ~ 9:40	H R	8:35 ~ 8:45
1 校時	9:45 ~ 10:30	1 校時	8:50 ~ 9:35
2 校時	10:40 ~ 11:25	2 校時	9:45 ~ 10:30
3 校時	11:35 ~ 12:20	3 校時	10:40 ~ 11:25
昼休み	12:20 ~ 13:00	4 校時	11:35 ~ 12:20
掃除	13:00 ~ 13:10	昼休み	12:20 ~ 13:00
4 校時	13:15 ~ 14:00	掃除	13:00 ~ 13:10
休み	14:00 ~ 14:15	4 校時	13:15 ~ 14:00
5 校時	14:15 ~ 15:00	5 校時	14:00 ~ 14:15
6 校時	15:10 ~ 15:55	6 校時	14:15 ~ 15:00
部活動	16:00 ~	H R	15:00 ~ 15:10
勤務終了	16:55 (17:25)	部活動	15:10 ~
		勤務終了	16:55

* 前後期日程

図1 平成23年度日程(9月前期終了パターン、全学年45分×6限)
全学年 1,2年のみ 2,3年のみ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	金	日	水	金	月	木	1 土	火	木	日	水	木
2	土	月	木	土	火	金	2 日	水	金	月	木	金
3	日	火	金	日	水	土	3 月 始業式	木	土	火	金	土
4	月	水	土	月	木	日	4 火	金	日	水	土	日
5	火	木	日	火	金	月	5 水	土	月	木	日	月
6	水 始業式	金	月	水	土	火	6 木	日	火	金	月	火
7	木	土	火	木	日	水	7 金	月	水	土	火	水
8	金 入学式	日	水	金	月	木	8 土	火	木	日	水	木
9	土	月	木	土	火	金	9 日	水	金	月	木	金
10	日	火	金	日	水	土	10 月	木	土	火	金	土
11	月	水	土	月	木	日	11 火	金	日	水	土	日
12	火	木	日	火	金	月	12 水	土	月	木	日	月
13	水	金	月	水	土	火	13 木	日	火	金	月	火
14	木	土	火	木	日	水	14 金	月	水	土	火	水
15	金	日	水	金	月	木	15 土	火	木	日	水	木
16	土	月	木	土	火	金	16 日	水	金	月	木	金
17	日	火	金	日	水	土	17 月	木	土	火	金	土
18	月	水	土	月	木	日	18 火	金	日	水	土	日
19	火	木	日	火	金	月	19 水	土	月	木	日	月
20	水	金	月	水	土	火	20 木	日	火	金	月	火
21	木	土	火	木 夏季休業	日	水	21 金	月	水	土	火	水
22	金	日	水	金	月	木	22 土	火	木	日	水	木
23	土	月	木	土	火	金	23 日	水	金	月	木	金
24	日	火	金	日	水	土	24 月	木	土	火	金	土
25	月	水	土	月	木	日	25 火	金	日	水	土	日
26	火	木	日	火	金	月	26 水	土	月 冬季休業	木	日	月 春季休業
27	水	金	月	水	土	火	27 木	日	火	金	月	火
28	木	土	火	木	日	水	28 金	月	水	土	火	水
29	金	日	水	金	月	木	29 土	火	木	日	水	木
30	土	月	木	土	火	金 終業式	30 日	水	日	月	木	金
31	日	火	金	日	水	土	31 月	木	土	火	日	土
備考	17	19	22	13	9	20	20	20	16	16	21	12

学年	1年生			2年生(平成22年度入学生)			3年生(平成21年度入学生)		
	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計
登校日	98	105	203	100	105	205	100	82	182

* 3年生の不足時間数は前期等に7限の授業日を設定

* 卒業要件

74 単位以上を修得していること（総合的な学習の時間を含む）

定められた必履修科目を本校の規定に従ってすべて履修していること（総合的な学習の時間を含む）

高等学校通算在籍期間が3年以上であること

本校に、前期または後期の一つの学期以上在籍し、単位を修得していること
特別活動を履修し、その目標からみて成果が満足できると認められること

* 教育課程

- ・ 少人数での授業展開を行う。
- ・ 中学時の基礎基本的な内容を学ぶ科目を設定する。
- ・ 基礎的な科目でのＴＴの導入。
- ・ 心身の健全な育成や社会的自立への取り組み支援等のため、校外でのボランティア活動や体験学習を実施し、単位認定する。
- ・ 職業科目、資格取得関連科目やコンピューター関連科目など、多様な選択科目を設定する。
- ・ 地域との連携による長期休業中の集中講座など、柔軟な履修形態による学習活動を展開し、単位認定する。
- ・ 2学期制による学期ごとの半期認定科目を設ける。
- ・ 就業体験やスポーツ文化活動、技能審査の成果などによる多様な単位認定を行う。

教科	科目	標準単位	必修科目			選択科目			計	備考
			1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次		
普通教科	国語総合	4	2	2				4	必修科目	
	現代文	4					3	0.3	大学進学希望者のみ	
	古典	4					2	0.5	大学進学希望者のみ	
	国語表現	2				2		0.2		
	日本語	2					2	0.2	日本語の常識	
	文章入門	2					2	0.2	作文・小論文講座	
	文字・言語力基礎	2					2	0.2	漢字検定等資格取得	
	世界史A	2	2					2	必修科目	
	日本史A	2		2						
	地理A	2		2						
	世界史B	4				3	3	0.6	2年次に1科目を選択必修 進学希望者対象 1科目選択、2,3年継続履修	
	日本史B	4				3	3			
	地理B	4				3	3			
	教養地歴	2					2	0.2	就職者用	
	歴史研究	1					1	0.1	半期認定科目 歴史能力検定	
	公民	現代社会	2			2		2	必修科目 3年次に必修	
	数	数学	3	3				3	3	必修科目 1年次もしくは2年次で履修
		数学	4					3	3.5	進学希望者のみ
数学		3					3	0.3	理系の進学希望者対象(開講しない場合あり)	
数学A		2				2		0.2	進学希望者のみ1年次もしくは2年次に選択	
数学B		2					2	0.2	進学希望者のみ2年次もしくは3年次に選択	
数学演習		3					3	0.3	進学希望者のみ	
ベーシック数学A		1			1			0.1	半期認定科目(前期開講)	
ベーシック数学B		2			2			0.2	半期認定科目(後期開講)	
実用数学		2					2	0.2	就職者用	
理科		理科総合A	2	2					2	必修科目
	生物	3						3	2年次に1科目を選択必修	
	物理	3		3						
	化学	3					3	0.3	選択科目	
	生物	3					3	0.3	進学希望者のみ	
	化学	3					3	0.3	進学希望者のみ	
	自然と実験	2					2	0.2		
	自然と実験	2					2	0.2		
保体	体育	7~8	2	2	3			7	必修科目	
	保健	2	1					2	必修科目	
芸	音楽	2						2	選択必修科目	
	音楽	2					2	0.2		
	美術	2						2	選択必修科目	
	美術	2					2	0.2		
術	書道	2						2	選択必修科目	
	書道	2					2	0.2		
外国語	英語	3	3					3	必修科目 1年次もしくは2年次で履修	
	英語	4					3	0.3	進学希望者のみ	
	オーラル・コミュニケーション	2			2			0.2	進学希望者のみ	
	リーディング	4					4	0.4	進学希望者のみ	
	ライティング	4				2	2	0.4	進学希望者のみ	
	ベーシック英語A	2			2			0.2	半期認定科目(前期開講)	
	ベーシック英語B	1			1			0.1	半期認定科目(後期開講)	
	ビジュアル英語	1				1		0.1	半期認定科目(後期)、リトルチャロ利用	
実用英語	2					2	0.2	英検3級以上の資格取得		
家庭	家庭基礎	2	2				2	必修科目		
情報	情報A	2		2			2	必修科目		
総合的な学習の時間			3~6	1	1	1		3		
普通教科計					39					
専門科目	農業	生物活用	2~6					2	0.2	農業は四季を通して学ぶ必要があるため通年
	グリーンライフ	2~6						2	0.2	農業は四季を通して学ぶ必要があるため通年
	商業	簿記入門	3				3		0.3	ビジネス基礎と同学年での履修が望ましい
		ビジネス基礎	2~4				2		0.2	簿記入門と同学年での履修が望ましい
		商業技術	2~4					2	0.2	半期認定可
		簿記	2~5				3	2	0.5	簿記入門履修後に履修する。
		秘書実務	1~2					2	0.2	秘書検定3級の取得
	情報	情報処理	2~4					4	0.4	
		ICT活用基礎	1				1		0.1	半期認定、パソコンの基礎
		Webページ	2					2	0.2	Webページ作成の基礎
		Webデザイン	2					2	0.2	Webデザイン技能検定3級取得
	家庭	アニメーション基礎	2				2		0.2	Flashアニメーションの基礎
		発達と保育	2~6					2	0.2	太良高校で実施中
		家庭看護・福祉	2~6					3	0.3	太良高校で実施中
		フードデザイン	2~6					3	0.3	太良高校で実施中
		服飾手芸	2~4					2	0.2	日常生活のマナーについて幅広く学ぶ
	体育	製菓	2					2	0.2	
		スポーツ	2					2	0.2	自然体験活動
		スポーツ	2					2	0.2	体づくりの運動
		スポーツ総合演習	2					2	0.2	ニュースポーツ
芸術	実用書道	2					2	0.2	資格取得(硬筆4級)か一般教養か	
	クラフトデザイン	1					1	0.1	半期認定科目(後期)、木工	
	ビジュアルデザイン	2					2	0.2		
	音楽表現	2					2	0.2		
教養	創作書道	1					1	0.1	半期認定科目(後期)	
	手話	1~2					1	0.1	半期認定科目(外部講師)	
	日本文化	1~2					1	0.1	茶道・華道(外部講師)	
	奉仕						1	0.1	校内外で活動(座学を含む)	
	郷土学習						1	0.1	地域の学習(外部講師)	
体験学習	体験学習	*					1~6	0~6	半期認定科目	
	体験学習						1	0~2	半期認定科目	
	就業体験						1	0.1	夏季集中科目	
	ボランティア活動						1	0.1	夏季集中科目	
校外学修	ホームルーム活動		1	1	1			3		
知識及び技能審査	*							*		
スポーツ・文化活動								*		

* 体験学習 は3時間×12回の半期認定科目
* 体験学習と校外学習を合わせて36単位まで修得可能

* 体験学習 は2時間×18回の半期認定科目
* は学校設定科目

(3) 選抜方法作業部会

* 募集定員

一般募集：40名

特別募集：4月入学 40名 10月入学 5名 計45名

高校中退者2年次相当以上編入学 5名(平成24年度以降)

* 応募資格

佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項を基本とする。

一般募集

佐賀県立高等学校入学者選抜実施要項の推薦入学及び後期試験に準ずる。

特別募集

保護者が佐賀県内に居住し、志願者も佐賀県内の中学校を卒業若しくは平成23年3月卒業見込みの者又は中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、以下のア～ウのいずれかに該当する者。

ア 不登校傾向等の者

・中学校での欠席日数及び適応指導教室等への通所等により出席扱いになっている日数の合計が、いずれかの学年で30日以上である者。

イ 発達障害のある者

・医療機関等から発達障害(LD、ADHD、高機能自閉症等)の診断を受けている者。
・保護者が中学校に発達障害を申し出ている、または、発達障害ではないかと相談している生徒で、学校長もその傾向があると判断する者。

ウ 高等学校を中途退学した者で、高等学校における修得単位が15単位以下の者。

* 選抜

一般募集の選抜について

- ・一般募集は、「推薦」と「後期試験」を実施する。
- ・推薦は、調査書、適性検査(作文も含む)、面接を総合的に判断し、合格者を決定する。
- ・後期試験は、調査書、学力試験、面接を総合的に判断し合格者を決定する。

特別募集の選抜について

- ・特別募集は、「自己推薦」「後期試験」「10月入学」を実施する。
- ・検査内容は一般枠とほぼ同じものを実施するが、選抜時に独自の基準を設ける。
- ・面接や作文を重視し、受検者のやる気を評価する。
- ・面接は、面接官の主観に左右されないように、複数回行い評価する。
- ・調査書の学習の記録や出欠の記録は、評価の対象としない。

検査内容

	一般募集		特別募集		
	推薦	後期試験	自己推薦	後期試験	10月入学
学力検査		(5教科)		(5教科)	
適性検査					
作文					
面接	(個人)	(グループ)	(個人)	(個人)	(個人)

- ・高等学校中途退学者2年次相当以上編入(4月) : 作文、面接(個人)

(4) 相談・指導作業部会

* 相談しやすい環境づくり

生徒や保護者の悩みや要望を積極的に受け止めることができるよう、教職員がカウンセリングマインドをもって接するとともに、相談しやすい環境・システムを整備。

(1) 周知

- ・ 入学時、ホームルーム、保護者会等での生徒・保護者への相談窓口等の周知。
- ・ 相談室だより等の配付により生徒、保護者に周知。

(2) 相談体制

- ・ 相談は、担任、教科担任、養護教諭、教育相談担当、スクールカウンセラーなど相談しやすい者から選択できるようにする。
- ・ 相談受付箱の設置や電話、メール等による相談受付などを行う。
- ・ 教育相談担当は学習支援ルームに常駐する。

(3) 相談後の対応

- ・ 相談後、教育相談担当教諭を通して、関係職員で理解・共有できるシステム(ルール化)を構築する。

(4) 保護者との連携

- ・ 保護者との連携協力体制を図るため、保護者会(発達障害等の研修会を含む)を年1回以上開催するとともに、生徒の出欠状況や学校生活について、各期1回以上家庭と連絡を取る。

(5) 面談

- ・ 担任は、年2回程度保護者と三者面談を実施する。
- ・ 生徒に対する個別面談週間(年3回程度、年度当初、後期)の実施。

* きめ細かな生徒指導

(1) 情報収集及び職員相互の共有

- ・ 生徒の情報(個人記録表)を教職員全員で共有できるようにする。
- ・ 履修登録授業等で欠席等を確認した教科担当は、速やかに担任へ報告する。
- ・ 学年連絡会等で、情報交換により不登校等の兆候を事前に把握するよう努める。
- ・ 月ごとに、欠席や遅刻が多い生徒を対象に担任等が面談を行う。
(欠席数を管理し、履修日数の確保に問題がある生徒への指導、面談を行う。)

(5) 地域連携作業部会

1 体験学習実施計画の具体的な実施内容例

現時点での平成25年度開講講座実施例(内容は参考例、今後充実を検討)は次のとおり。

なお、次の例のうち平成23・24年度の開講講座数は今後検討する。

(1) 週1回実施の具体的な実施内容例

< 3時間(50分授業) × 12回 > × 前期・後期(金曜日午後予定)

対象：全学年(各生徒4～5名程度・教師1名、前期・後期実施)

ア 介護福祉・園芸体験

隣接農地で自家用の野菜・果物を多数栽培しているグループホームでの体験

イ 介護福祉体験

複数の福祉施設での介護福祉体験

ウ 園芸(バラ)体験

バラ栽培を中心とした園芸体験(フラワーアレンジメントも実施)

エ 園芸(前期：ユリ・マンゴー、後期：ユリ)体験

ユリ栽培(前期マンゴー栽培もあり)を中心とした園芸体験、フラワーアレンジメント

オ 園芸・加工(前期：加工、後期：みかん・加工)体験

ミカン栽培、ジュース・ジャム加工を中心とした園芸・加工体験

カ 林業体験

林業体験、椎茸栽培、木工作業等を中心とした林業関係体験

キ 食品加工・漁業体験

精肉作業・加工、蟹・ヒラメ・のり等養殖等を中心とした食品加工・漁業体験

*ヨット、カヌーなど海洋性レクリエーション体験について実施方法も含め今後検討

< 2時間(45分授業) × 20回 > × 前期・後期(水曜日午後予定)

対象：全学年(各生徒10～15名程度・教師1名、前期・後期実施)

ア 学校菜園実習体験

学校菜園を利用した太良町特産等の野菜栽培等を中心とした実習体験

イ 奉仕活動

清掃活動、リサイクル活動、募金活動、案内板作製、救急救命体験等の奉仕活動

ウ 郷土学習

現在実施している総合的な学習の時間の郷土学習をベースに郷土学習、現地確認、郷土産品を使った加工等を中心とした郷土学習

(2) 夏休み等集中講座の具体的な実施内容例

< 1日 × 5回(原則連続) > 前期集中講座(夏休み、月～金曜日)

(活動4日(1日8時間以内)、学習整理1日、計5日)

就業体験(インターンシップ)

- ・ 現行インターンシップ受け入れ先に加え、今後開拓
- ・ 対象は、原則高校2年次生全員とし、2年次の総合的な学習の時間と連携して実施

ボランティア活動体験

- ・ 夏休み小学生勉強・体験等補助(生徒4~5名程度×4週)
- ・ 町内小学1~3年生対象に勉強、体験等を行う社会福祉協議会事業の補助活動

2 通学対策実施計画

(1) 通学対策の基本的考え方

特別募集は、生徒を全県から募集するため、通学対策を実施

(2) 通学対策の方法

始業・終了時間の工夫

JRを利用した遠距離通学への対応として、45分授業の実施、午前3時間授業、午後3時間授業とするなど、JR駅時刻表も考慮した校時表を検討する。

なお、授業終了時にJR運行がない時間帯の始発駅変更(肥前浜駅発列車の多良駅発列車への変更等)のJR要望も、今後、検討が必要。

下宿の確保

自宅から通学が困難な生徒のために、下宿先を確保することとする。下宿先候補者はH21.8月の町広報誌で募集中。

その他

太良高校前駅設置は、通学対策としては有効であるが、設置には課題もあると聞いている。引き続き検討を要する。

3 小中高連携計画

(1) (参考)佐賀県立高等学校再編整備第二次実施計画(H21.3.17決定)

(抜粋)

「改編語の太良高等学校は、連携型中高一貫教育の経験を生かして、中学校だけでなく、小学校も含めた連携の充実を図っていきます。」

なお、現在の中高一貫連携型選抜は平成22年度入試までとし、連携型中高一貫教育は平成22年度入学生が卒業する平成24年度をもって終了します。」

(2) 小中高連携の今後の検討内容例

以下の案も参考に検討する。

ワンポイント交流授業

- ・ 連携型中高一貫教育期間中の平成22年度は、従来どおり。
- ・ 平成23年度の太良高校改編後(中高一貫継続期間の平成23~24年度含む)は、小学校も含めた実施を検討。

小学校、中学校、高校にそれぞれが授業参観（各教科1回程度をいずれかの学校で開催、特にICT活用等）し、意見交換等を行うことを検討する。

郷土学習

- ・ 連携型中高一貫教育期間中の平成22年度は従来どおり。
- ・ 平成23年度の太良高校改編後（中高一貫継続期間の平成23～24年度含む）は、中学校は従来どおり、また、高校は体験学習の一つとして郷土学習を実施することを検討。

3校合同イベント（中高文化交流会）

- ・ 太良町の支援も受け、平成22年度以降（中高一貫終了後の平成25年度以降含む）も継続を検討。

地元町中学生の高校1日体験入学

- ・ 平成22年度以降（中高一貫終了後の平成25年度以降含む）も継続を検討。（全中学校3年生対象は太良町、地元中学校の了解を前提）

部活動の交流

- ・ 平成22年度以降（中高一貫終了後の平成25年度以降含む）も継続を検討。

美しい日本語暗誦大会開催

- ・ 太良町の支援を受け平成22年度以降も継続を検討

研修会

- ・ 高校側が発達障害等での研修会を開催する場合は、中学校、小学校からも担当者出席。

その他

- ・ 合同ボランティア活動など、小中高校の生徒が交流する事業の可能性について検討。
- ・ 高校側から中学校への教員乗り入れ授業は、連携型選抜の対象生徒でない平成22年度以降は取りやめについて検討。

(3) 連携型中高一貫教育に関する県、町の規則上の規定の改正時期

現在、「佐賀県立学校の管理に関する規則」及び「太良町立小、中学校の管理に関する規則」に連携型高等学校及び連携型中学校の教育課程をそれぞれ規定しているが、当該規定の削除の改正は平成25年3月に行うものとする。

体験学習実施例

奉仕活動(実施素案)

前期 / 後期の半期履修 2時間連続(45分授業) × 20回

対象 全学年 (定員10～15名)

【前期】

月	回	活動	場所	内容
4月	1	合同オリエンテーション	校内	体験学習についての説明・注意
	2	講義	校内	奉仕に関する基礎的な知識・理解
	3	清掃活動	校外	多良駅の清掃
5月	4	清掃活動	校外	通学路のゴミ拾い・ミラー磨き
	5	講義	校内	国際ボランティア活動について知る
	6	リサイクル活動	校外	エコキャップ・ブルトップのリサイクル箱設置
6月	7	募金活動	校外	たらふく館・エレナ・役場前などにて活動
	8	募金活動	校外	たらふく館・エレナ・役場前などにて活動
	9	案内板・タウンマップ制作	校内	材料調達・デザイン構成・作業
	10	案内板・タウンマップ制作	校内	作業
	11	案内板・タウンマップ制作	校内	作業～完成
7・8月	12	案内板・タウンマップ制作	校外	各場所に設置
	13	清掃活動	校外	独居老人宅(社協に協力依頼)
	14	はがき制作(暑中見舞い)	校内	独居老人宛に作成し送る(社協に協力依頼)
	15	雑巾制作	校内	作業
9月	16	雑巾制作(施設訪問)	校外	町内介護施設を訪問し手作り雑巾を贈る
	17	講義	校内	青年海外協力隊について知る
	18	救命救急体験	校内	救命救急法、AED体験
	19	リサイクル活動	校外	リサイクル箱回収・集計
	20	反省	校内	作文を書く

【後期】

月	回	活動	場所	内容
10月	1	合同オリエンテーション	校内	体験学習についての説明・注意
	2	講義	校内	奉仕に関する基礎的な知識・理解
	3	清掃活動	校外	多良駅の清掃
11月	4	清掃活動	校外	通学路のゴミ拾い・ミラー磨き
	5	講義	校内	国際ボランティア活動について知る
	6	リサイクル活動	校外	エコキャップ・ブルトップのリサイクル箱設置
	7	募金活動	校外	たらふく館・エレナ・役場前などにて活動
12月	8	募金活動	校外	たらふく館・エレナ・役場前などにて活動
	9	はがき制作(年賀状)	校内	独居老人宛に作成し送る(社協に協力依頼)
	10	清掃活動	校外	独居老人宅(社協に協力依頼)
1月	11	雑巾制作	校内	作業
	12	雑巾制作(施設訪問)	校外	町内介護施設を訪問し手作り雑巾を贈る
	13	廃材工作(おもちゃ)	校内	材料調達・作業(積み木、パズル、ガラガラ等)
2月	14	廃材工作(おもちゃ)	校内	作業
	15	廃材工作(おもちゃ)	校内	作業～完成
	16	廃材工作(保育園訪問)	校外	園児に贈り一緒に遊ぶ
	17	講義	校内	青年海外協力隊について知る
	18	救命救急体験	校内	救命救急法、AED体験
3月	19	リサイクル活動	校外	リサイクル箱回収・集計
	20	反省	校内	作文を書く

(資料) 前回の会議概要

開催した会議の名称	平成21年度 第2回新太良高校設置準備委員会
開催日時	平成21年6月3日(水) 10:00~11:42
開催場所	(所在地) 藤津郡太良町大字多良4212-6 (会場名) 佐賀県立太良高等学校同窓会館会議室
出席者	白水委員、中原委員、永淵委員、陣内委員、橋口委員、荒木委員、松尾委員、植松委員、大岡委員、合浦委員、杉崎委員、坂本委員、平山委員、塚原委員、峰委員、古賀委員、中野委員代理、大木委員代理、熊崎委員代理
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の人数	0人
会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員会挨拶(北風副教育長)</p> <p>3 委員長あいさつ</p> <p>4 協議</p> <p>(1) めざす学校像(案)について</p> <p>(2) 各作業部会での検討状況について</p> <p style="padding-left: 40px;">教育課程作業部会</p> <p style="padding-left: 40px;">選抜方法作業部会</p> <p style="padding-left: 40px;">相談・指導作業部会</p> <p style="padding-left: 40px;">地域連携作業部会</p> <p>(3) その他</p> <p>5 閉会</p> <p>(主な意見・要望)</p> <p>教育課程を検討するにしても、めざす学校像が不明確だとはっきりしない。新しい学校を立ち上げる理念が見えるように、めざす学校像はしっかり検討して欲しい。</p> <p>めざす学校像が見えてくるよう、学校がどのような子ども達を社会に送りだそうとしているのか、はっきりさせる必要がある。</p> <p>めざす目標を最低限より少しハードルを高めを設定する必要がある。</p> <p>中学時代、学力が低かった者が、高くなる。中学時代、リーダーでなかった者がリーダーとなれるような学校をめざし、子ども</p>

	<p>達に希望を持たせるよう「社会で活躍できる生徒の育成」を上げたらしいのではないか。</p> <p>進学の実も大きな狙いなので、大学進学を希望する生徒は、必要な科目を選択できるような教育課程を組んでいく必要がある。</p> <p>体験学習などの多様な単位認定を見ると、生徒にとってたいへん魅力的な授業が展開されるとの印象を持った。</p> <p>通常の授業が受けられるだけの一定の学力を有する生徒を受け入れるように、学力試験・適性試験と面接を総合的に判断する必要がある。</p> <p>発達障害の生徒の応募は全体の中では少なくなると思うが、中学校も保護者も理解した上で応募してもらえようにする必要がある。</p> <p>太良高校にやりたいけど不安を思っている保護者もいるので、なんらかの機会をとらえて、PRを行う必要がある。</p> <p>不登校の生徒の中にもレベルの高い子はおりに、私たちも期待している。一般の町民の中にも心配している人もいるので、是非周知していく必要がある。</p> <p>単位をもった中退者で授業に出る機会が少ない生徒でも、太良高校に愛着が持てるようにロングホームルーム等で工夫して欲しい。</p>
会議資料	・会議資料
問い合わせ先	<p>担当課 教育庁総務課学校再編・新太良高校準備室</p> <p>電話 0952-25-7222</p> <p>FAX 0952-25-7067</p> <p>E-mail saihen@pref.saga.lg.jp</p>

新高校設置準備委員会設置要領

平成14年10月21日
佐賀県教育委員会教育長決定
一部改正 平成21年4月 1日

(設置)

第1条 佐賀県立高等学校再編整備実施計画に定める再編等によって設置される高校(以下「新高校」という。)の具体的な在り方等を検討するために、県立高等学校再編整備推進本部設置要綱第7条の規定に基づき、新高校設置準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会は、新高校ごとに別表のとおり設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる具体的な検討を行う。

- 一 新高校の教育内容及び管理運営等に関すること
- 二 新高校の施設・設備に関すること
- 三 新高校への円滑な移行に関すること
- 四 前号に掲げるもののほか、検討を要すること

(組織)

第3条 委員会の委員は、再編等整備の対象となる学校(以下「再編等対象校」という。)の校長、教職員、県教育委員会事務局関係者及び地域関係者のうちから教育長が委嘱する。

2 委員会には委員長及び副委員長を置き、再編等対象校関係委員の中から教育長が指名する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代理する。

4 委員長は、必要と認めるときは、委員会に作業部会を設置することができる。

(会議)

第4条 委員会は、委員長が招集し、主宰する。

2 委員長は、必要と認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(事務局)

第5条 委員会の事務局は、委員長が所属する学校及び学校再編・新太良高校準備室に置く。

(補足)

第6条 この要領に定めるもののほか、委員会及び作業部会の運営に必要な事項は委員長が委員会に諮って定める。

新太良高校設置準備委員会委員（平成21年4月）

No.	所属・職名	氏名	備考	
1	太良高等学校校長	白水 敏光	太良高校 関係者	委員長
2	太良高等学校教頭	中原 卓則		副委員長
3	太良高等学校事務長	溝口 茂幸		
4	太良町副町長	永淵 孝幸	太良町関係者	
5	太良町教育長	陣内 碩泰		
6	太良高等学校教育後援会長	橋口 健一郎	地元関係者	
7	太良高等学校同窓会長	荒木 誠一郎		
8	多良中学校長	松尾 雅晴	中学校関係者	
9	大浦中学校長	植松 正鋼		
10	多良中学校PTA代表	大岡 利昭		
11	大浦中学校PTA会長	合浦 善哉		
12	鹿島市教育長	小野原 利幸	鹿島市関係者	
13	嬉野市教育長	杉崎 士郎	嬉野市関係者	
14	総務課長	伊東 博則	県教委関係者	
15	教職員課長	中島 秀明		
16	教育政策課長	坂本 兼吾		
17	学校教育課長	平山 又一		
18	体育保健課長	塚原 康弘		
19	藤津教育事務所長	中村 和彦		
20	学校再編・新太良高校準備室長	峰 雅樹		
21	教育政策課参事 (兼)学校再編・新太良高校準備室参事	福田 孝義		
22	学校再編・新太良高校準備室参事	古賀 信孝		
事務局	太良高校教諭	今田 康光		
	学校再編・新太良高校準備室副室長	山崎 新		
	学校再編・新太良高校準備室企画主幹	山口 孝		